

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社サクセスアカデミー

にじいろ保育園サクセス東戸塚

横浜市戸塚区川上町 85-1

【評価対象種別】

保育所

【使用評価項目】

横浜市版

●実施概要	P1
●総合評価	P2 ~P3
●分類別評価結果	P4 ~P12
●利用者家族アンケート結果	P13~P21
●利用者本人調査結果	P22~P24
●事業者コメント	P25

2016年9月

評価実施機関：合同会社 評価市民・ネクスト





## 【評価実施概要】

事業所名	株式会社サクセスアカデミー にじいる保育園サクセス東戸塚
事業所への報告書提出日	2016年11月8日（評価に要した期間）6か月
評価機関	合同会社 評価市民・ネクスト

### 評価方法

1、自己評価 実施期間 2016年5月30日～7月22日	職員会議で趣旨説明をした後、全職員が全ての項目において自己の評価を行い記入した。 小グループを作り各項目の確認を行うのと同時に、職員会議やカリキュラム会議で評価の確認を行った。 それを基に、園長、主任が最終的な園の自己評価としてまとめた。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2016年6月24日～7月8日	全園児の保護者（53世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日 第1日：2016年8月24日 第2日：2016年8月26日	[第1日] 午前：保育観察。 昼食：園児と一緒に食べながら保育観察。 午後：書類調査。園長・運営法人保育アドバイザーにヒアリング。 [第2日] 午前：朝は登園の様子を観察。その後各クラスで保育観察。 昼食：園児と一緒に食べながら保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、新任2名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員2名に順にヒアリング。 その後、園長・運営法人スーパーバイザー・保育アドバイザーにヒアリングにヒアリング。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日 第1日：2016年8月24日 第2日：2016年8月26日	観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

### 【施設の概要】

にじいろ保育園東戸塚は、JR 横須賀線「東戸塚」駅より徒歩 3 分ほどの 8 階建てビルの 1 階にあります。交通量の多い道路に面したビルですが、保育園の入口は裏通りに面しており、子どもたちが安全に出入りすることができるよう配慮してあります。品濃町公園、大豆田公園などの公園に散歩に出かけ、公園の遊具を使い成長に合わせた遊びを楽しんでいます。また、近隣にはスーパーマーケット、薬局、書店、飲食店などの商業施設や地区センター、公会堂、図書館などの公共施設があります。定員は 60 名(0 歳児～5 歳児)、開園時間は平日：7 時～20 時、土曜日：7 時～18 時です。

保育理念は「のびやかに育て だいちの芽」、保育目標は「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。

にじいろ保育園東戸塚は 2006 年(平成 18 年)4 月に株式会社サクセスアカデミーによって設立されました。運営法人の株式会社サクセスアカデミーは保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・事業所・大学内の保育委託サービス保育施設運営のコンサルティングサービスなどを首都圏を中心に幅広く展開しています。

### ●特長・優れている点

#### 【1】穏やかな雰囲気の中、子どもたちは自分で考える力を養いながら育っています。

子どもたちは、様々な場面において、自分たちでルールを作りながら毎日を楽しんでいます。公園では、即席で順番に歌を歌いあったり、踊りあったりしています。オリンピックのまねをしてかけっこを行ったり、鬼ごっこをしたり、子どもたちの発案でどんどん遊びが変化していきます。保育士は子どもたちのアイデアや気持ちを大切にしながら見守っています。

幼児クラスでは 4 歳児と 5 歳児と一緒に生活をしています。家庭的な雰囲気の中、5 歳児が遊んでいるチェスの周りで 4 歳児がじっと見えています。5 歳児たちはゲーム板の横に書いてあるマニュアルを見て自分たちで駒の動かし方やルールを互いに確認しながらゲームを進めています。その様子を見ている 4 歳児たちも徐々にチェスのルールを覚えていっています。保育士たちは「え～そうなんだぁ」「すごいねぇ」「どれ、見せて見せて」などと子どもたちを褒め、子どもたちが自信を持てるような声掛けを行っています。

保育士たちは子どもたちが興奮している場面でも、常に静かで穏やかな話しかけ方を行い、子どもたちの感情が落ち着くように支援しています。保育士たちは、子どもたちが保育士の声掛けにより落ち着きを取り戻し、「自分はどうしたいのか?」「どうしたら解決できるか?」などの考えを自分の気持ちとして相手に伝えることができるようにしています。

#### 【2】職員からの意見を取り入れ、子どもの個性に合った環境構成へと改善を行っています。

子どもたちが穏やかで落ち着いた生活ができるよう、園内の環境構成に力を入れています。乳児クラスでは、パーテーション、棚、床マットを利用して、コーナーを作り、子どもが安全で落ち着いて遊べるスペースを作り出しています。過密にならない程度のスペースを作り出すことにより、子どもが安心して動き回れるようにしています。子どもたちは、一人で棚の中に入りこんだり、隅っこに行き横になったりし、思い思いの場所でくつろいでいます。子どもたちは保育士に甘えたり、訴えたり、表情豊かにそれ

その思いを保育士に伝えています。また、おもちゃは子どもの発達や成長に合わせた物を用意すると共に生活の時間帯によってはおもちゃが見えないようにするなどの工夫をしています。保育士は子どもたちの日々の状況を丁寧に見守り、発達の段階ごとに室内のレイアウトやおもちゃなどを換え、常に子どもが安心して園生活が送れるよう努めています。

幼児クラスでは活動内容に合わせて、保育室内の可動式の棚を動かしたり、ござを敷くなどして保育室を有効に使用しています。友だちから直ぐには見えない場所で少人数で遊んだり、友だち同士や、保育士と話をしたり着替えを行ったりと、子どもが落ち着く空間を作り出しています。保育室内には普段から使用しているおもちゃも置いてありますが、子どもの興味や関心に合わせて、戸棚からおもちゃを取り出すこともあります。子どもたちが、それぞれの個性に合わせた生活ができるように保育士が支援しています。

また、玄関前にある絵本コーナーを、子どもたちのちょっとした休憩場として利用し、子どもたちの逃げ場としたり、本読みをしたり、読み聞かせをしてもらうなど、心を穏やかにするための場所として様々な使い方をしています。

毎日子どもたちと一緒にいる保育士たちが、日々変化する子どもの状態に合わせて、より良い環境構成を考え、意見を出し合って、環境づくりを実施しています。

### **【3】積極的に日々のコミュニケーションを大切に、保護者との信頼関係を築いています。**

朝夕の送迎時には必ず保護者との情報交換を行っています。送迎時、必ず保護者と顔を合わせることができるよう、受け入れの窓口を幼児クラス、乳児クラス、それぞれ一か所としています。また、クラス担任がいない場合でも連絡帳を基に連絡漏れがないようにしています。栄養士、調理師も送迎時には廊下に出て保護者への声掛けを行なっています。離乳食の進捗状態、作り方、病気がりの子どもやアレルギー児の保護者への食事のアドバイスなど、折に触れ行っています。

また、幼児を含む、全ての子どもに連絡帳を渡し、日々の会話と共に書面でのコミュニケーションも図っています。乳児クラスは毎日ですが、幼児クラスでも連絡帳を利用して、子どもの様子や情報を伝えています。多い時には毎日連絡帳を記載する時もあります。連絡帳を読んだ保護者も家での子どもの様子を具体的に書くなどしています。保育所と家庭での子どもの様子が詳しく分かることで、子どもは保育士から適切な支援を受ける事ができるようになっています。園は保護者との交流・連携を密にすることにより保護者から高い信頼を得ています。

## **●改善や工夫が望まれる点**

### **地域との交流を行い、園の専門性を活かした地域支援を行う事が期待されます。**

幼保小連絡会議や園長会に参加し地域の情報収集や交流を行っていますが、地域の子育て支援ニーズの把握への取り組みが遅れています。地域の行事に参加したり、園のイベントに地域の方を招待したりする活動を行うなど、今後、地域コミュニティへ積極的に働きかけることが期待されます。また、地域交流で得た情報を基に、幅広く地域の子育て支援ニーズを把握・分析し、地域の特性を生かした育児講座等で園の特色を知らせたり、園が培ったノウハウを地域の子育て家庭に還元するための取組みの工夫が期待されます。

## 分類別評価結果



「ひょう太」 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

横浜市の評価基準に基づいて、各評価分類は1～6つの評価項目によって構成され、評価項目の評価結果によって、評価分類の評価結果が決まります。

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育理念として「伸びやかに育て、だいちの芽」としており、保育方針が「みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛」となっています。保育目標は目指す子どもの姿として「・自然を愛し、心身ともに健やかな子ども、・自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども、・「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども、・自己を表現できる子ども」としており、利用者本人を尊重したものと なっています。</li> <li>• 4、5月のカリキュラム会議・職員会議で園内研修を行い、話し合いの中で全職員は基本方針を周知しています。</li> <li>• 保育課程は保育目標、園目標を第一義に掲げており、子どもの利益を重視したものと なっています。</li> <li>• 言語化できる子どもについては、丁寧に意見を聞こうとしています。言語化できていない子どもについては、その表情・仕草などから様々な方法で子どもの意向を把握し、それを指導計画に反映しています。</li> </ul>
<p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入園時、児童票にこれまでの生育歴、健康調査票、児童調査票などを記載してもらい、家庭での状況を把握しています。さらに、面接時に子どもをよく観察し、子どもの発達課題を把握しています。</li> <li>• 新入園児については、担当保育士を決めており、子どもが不安にならないように配慮しています。</li> <li>• 月案や週案を作成する時には、職員会議などで個々の子どもの状況を話し合っ て、その情報を共有しながら子どもの発達状況に応じて指導計画を作成しています。</li> </ul>
<p><b>I-3 快適な施設環境の確保</b></p> <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 園の内外ともに掃除マニュアルに沿って清掃しており、掃除チェック表を用いて管理しています。温度計・湿度計が各保育室に置いてあり、エアコンの温度を適切に管理しています。</li> </ul>

<p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児室には沐浴室があります。0歳児1歳児は排便後はおしりをシャワーで洗っています。幼児用トイレには温水シャワーが設置されています。</li> <li>・0歳児の保育室は、手作りのブロックなどで小さなコーナーを作っています。4、5歳児の保育室は、本棚や園児用のロッカーを移動させ、部屋をつなげ、大きな空間を作り異年齢交流の場にしています。</li> </ul>
---	--

#### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



<p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児は毎月個別指導計画を作成しています。3歳児以上で要支援、配慮を必要とする子どもについては、2ヶ月に1回の個別指導計画を作成しています。</li> <li>・入園時に、それまでの家庭の状況、健康状況、発達状況などを決められた書式に記録しており、入園後の発達記録は児童票、児童発達経過記録に記載していきます。</li> </ul>
---	--

#### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



<p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮を要する子どもを受け入れています。月1回のカリキュラム会議・職員会議、ケース会議などで個別のケースについて話し合わせ、情報の共有が図られています。</li> <li>・園はフラットの構造で、トイレも障がいのある子どもで利用できる設計となっており、障がい児保育の環境整備に配慮しています。障がいについての研修を、戸塚療育センターで受講した職員の報告書を読んだり、ケース会議や職員会議で障がいについて話し合っています。</li> <li>・虐待が疑われるケースについては、担当保育士の判断によらず、複数の職員も加わり、ミーティングやケース会議で取り上げることにしています。また、気になる子どもが見つかった場合には、日常的に、保護者を支援し虐待の予防に配慮しています。</li> <li>・アレルギー疾患については、入園時の健康台帳に記載してもらっています。アレルギー疾患がある場合にはかかりつけ医に生活管理指導表を出してもらい、除去食を提供しています。食事の時には、専用のトレーを用い、乳・卵アレルギー用の食器も色分け(ピンク、黄色)しています。給食にラップをかけて、そこに子どもの名前を書いて、他の子どもと間違えないように配慮しています。また、台拭きも専用の厚みのある布巾を用い、他の布巾と混ざらないようにしています。</li> <li>・外国籍の子どもについては、それぞれの子どもの生活習慣の違いを説明し、子どもたちが理解できるように配慮しています。</li> </ul>
--	--


#### I-6 苦情解決体制



<p>(1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園における苦情受け付けシステムの仕組みが、入園のしおりに書かれており、さらに園の玄関ホールに掲示をしております。また、運動会、夏祭りなどのイベントの時に、保護者アンケートを実施し、保護者の要望、</li> </ul>
--	--

<p>(2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>意見を聞くようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 意見や要望が出された場合、主任、園長にすぐに連絡され、迅速に対応するようにしています。</li> <li>• 要望や苦情を受け付け対応するための「苦情解決マニュアル」が整備されています。要望や苦情は職員会議で話し合い、職員全員で情報共有を行っています。過去のデータは記録に残されており、その後の問題解決に活かされています。</li> </ul>
---	---

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 乳児クラスは子どもたちが落ち着いて生活できるように、おもちゃの前にカーテンを引いたり、パーテーションでコーナーを作りおもちゃ箱を入れています。中には、年齢に合わせた読み聞かせの本や小さいサイズのおもちゃ、人形ごっこができるような手作りの布団を用意しています。幼児クラスでは、おもちゃ籠に写真やイラストを付けて子どもが片付けたり取り出したりしやすいようにしています。</li> <li>• 自由に遊べる時間が十分とっており、公園で遊んでいる最中にも自由に遊べる時間が十分にあり、自然発生的に歌を歌いあったり踊ったり、子どもたちで変えたルールでの鬼ごっこ、かけっこなどを行ったりするなど、子どもたちの発案を集団活動に取り入れて遊んでいます。</li> <li>• プランターを利用してトマト、トウモロコシ、ゴーヤなどを育て、成長過程を見たり、収穫を楽しんでいます。収穫したトウモロコシ、ゴーヤなどは玄関に飾っています。</li> <li>• 保育プログラムに造形教室や体操教室を組み入れ子どもの興味や関心が広がり、様々な場面で自由に表現することができるよう配慮しています。</li> <li>• 子ども同士のけんか等については、保育士は危険がないよう注意深く見守っています。子どもたちの話をじっくり聞き、言葉で上手く気持ちを伝えられない子どもの代弁をするなどして、子どもたちで解決できるよう支援しています。</li> <li>• 日常的に4歳児5歳児は合同で活動を行っています。散歩に行く時は異年齢で手を繋いでいます。</li> <li>• 晴れていれば、毎日散歩や屋外活動、プール遊び、水遊びなどを行っています。</li> <li>• 子ども年齢に応じて、外遊び（乳児はウッドデッキ使用も含め）水遊びなどの内容を変えています。</li> </ul>



## Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- (7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- 子どもが苦手とする副菜がある時は、子どもの話を聞いて量を調整したり、「もうちょっと一緒に食べようか」などと、子どもを励ます言葉で支援を行っており、食べる事を強制することはありません。
- 子供の成長に合わせた食器を使用しています。保育士、栄養士、保護者を交えて話し合いを行い、スプーンの形状など個々の子どもの状態に合わせた食具を考え使用しています。
- 栄養士は食事時間中に保育室を回り子どもたちから話を聞いたり、保育士からの食事の様子などを聞いて子どもたちの好き嫌いを把握しています。トッピングに野菜をのせたり、献立によっては具材を小さくしたりして子どもたちが食べやすいようにしています。
- 玄関に置いてある給食サンプルケースの横にレシピをおき、保護者が持って帰る事ができるようになっています。個別に相談・要望のあったレシピにもすぐに対応できるようになっています。
- 毎月保育参加(子どもの誕生日月)を2回行い、来訪した保護者が給食の試食ができるようになっています。試食後のアンケートをとり、結果は職員で共有しています。
- 栄養士は朝夕の送迎時に保護者に積極的に話しかけに行き、離乳食期の食材や形状、味のつけ方などの説明をしたり相談を受けたりしています。
- 午睡時には子どもたちが安心して眠ることができるよう、保育士が子どもの顔を見ることが出来る程度の薄暗さにしています。
- 園での子どもの排泄状況を送迎時に口頭で伝えたり連絡帳に記載し保護者に細かく伝えていきます。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- 「保健衛生マニュアル」があり、それに基づき一人一人の健康状態を把握しています。
- 一人一人の健康診断を記録した「健康カード」、歯科健診を記録した「歯科健康診査表」があります。健診後、保育士の気になることなどを基に嘱託医やかかりつけ医に相談や質問、確認をし連携を図っています。
- 感染症への対応を明記したマニュアル「保育所における感染症対策」があります。保護者には入園時配布している「入園のしおり」「重要事項説明書」の中に「感染症対策について」の項目があり、対象疾病、出席停止の期間基準などを記載し、保護者にも周知しています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4) 衛生管理が適切に行われているか。

- 「保健衛生マニュアル」「清掃マニュアル」があり、マニュアルに基づき手順表、清掃チェックシートが用意され、清潔で適切な状態が保たれています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6) 事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・「危機管理マニュアル」「避難訓練」「事故防止」など安全に関する各種マニュアルがあり、職員には周知・研修が行われています。職員は消防署員による救急救命法(心肺蘇生、AED)などの訓練を受けています。
- ・事故や怪我があった場合は「アクシデントレポート」、「事故報告書」を作成し、原因や今後の対応について記載しています。同じことが繰り返されないよう、職員全体で保育の見直しや改善に向けて話し合いを行っています。
- ・玄関はオートロックの施錠となっており、インターフォン画面で訪問者を確認した後、開錠するようになっています。また、出入りロドアと園庭には監視カメラを設置し事務室内のモニターで見ることができます。
- ・警備会社と契約し、緊急通報システムを導入しています。

## Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・年度初めには人権についての研修を行い、言葉の使い方、注意の仕方について話し合っています。子どもを批判したり、傷つけることがない保育を行うことを全職員で認識しています。気になることがあった場合は、「どうしたの?」「何があったの?」などの声掛けを行い、職員間で相互に配慮しています。
- ・保育室内を棚・パーテーションで区切ったり移動させたりして、友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる空間を作り出しています。玄関前には絵本コーナーもあり、子どもたちが落ち着いて過ごせるようになっています。
- ・個人情報に関する書類は、事務室内の鍵のかかる棚に保管しています。子どもの個人情報が記載された書類は園外に持ち出さない事を厳守しています。
- ・遊びや行事の役割、持ち物服装などで性別による区別は行っていません。出席簿は月齢順になっています。

## Ⅱ－４ 保護者との交流・連携





- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるため

- ・入園時説明会では「重要事項説明書」、「入園のしおり」を基に保護者に対して、保育理念、保育の基本方針の説明を行っています。年2回保護者全員にアンケートを行い、保育方針が理解されているかの確認を行っています。
- ・職員は子どもの様子を送迎時に直接伝えるようにしています。担任職員が不在の場合は「出欠席及び伝達事項確認表」を基に保護者に伝えたいことがきちんと伝わるようにしています。
- ・0歳児から5歳児まで個々の連絡帳があり、乳児は毎日、幼児は週に3回くらいの記載を行い、子どもの情報を家庭に伝えるようにしています。
- ・年に1回個人面談を行っています。保護者からの希望があれば随時個




<p>の工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>別面談を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からの相談を受けた職員はリーダー、主任、園長に相談内容を伝え、適切な助言が受けられるようになっています。</li> <li>園だより、きゅうしょくだより、クラス便り、保健だよりなどを毎月発行し子どもの園生活に関する情報を提供しています。日常的な子どもの様子や、行事などの写真をホームページ(にじいろブログ)に載せています。保育中に子どもが作成した絵や作品は保護者が見たり触れたりできるように、保育室、玄関、廊下などに展示しています。</li> <li>年度初めに年間予定表を配布し保護者の保育参加の予定を立てやすくしています。保育参加の時には給食の試食もできるようにしています。</li> <li>開設当初から保護者会が発足しており、保護者組織とは常にコミュニケーションを取り、夏祭りや保護者会主催の催し物が成功するように協力しています。</li> </ul>
---	---

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）	
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>園長は幼保小連絡会議や園長会に参加し、他施設との検討会・研究会に出席しています。</li> <li>園庭開放を行っています。</li> </ul> <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の子育て支援ニーズの把握への取り組みは進んでいるとは言えません。地域住民に対する講習、研修会など、園がこれまで蓄積してきた子育てに関するノウハウを地域住民に提供できるよう、地域の子育て支援ニーズへの対応の取り組みが期待されます。</li> </ul>	
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> <p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士の巡回が月 1 回ある事や育児相談の実施等のチラシを門の外に掲示しています。</li> <li>嘱託医、地域の病院、戸塚療育センターなどの関係機関のリストがあり、事務室に掲示され、職員はいつでも見ることができます。関係機関との連絡の担当者は園長がなっています。</li> </ul> <p>【望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園庭開放が定期的に行われていないため、臨床心理士の巡回や保育相談の実施についてのチラシを園外に掲示しているにもかかわらず、これまで問合せや相談を受けていません。保育園の持っている専門的知識や、</li> </ul>	

子育てに関するノウハウを地域に向けて積極的に発信していくことが望まれます。




## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p style="text-align: right;"></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保小推進地区指定で、小学校との連携を積極的に図っており、園の運動会は近隣の小学校のグラウンドを借りたりして小学校との連携が図られています。</li> <li>・ 毎日の散歩などで、近隣の人に挨拶したり、公園では他の保育園の保育士と交流を図るなど、日常的な地域との交流に努めています。</li> </ul> <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の行事に参加したり、園のイベントに地域の方を招待するなどの活動は行われていません。今後、地域コミュニティへの働きかけを積極的に行っていくことが期待されます。</li> </ul>
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<p style="text-align: right;"></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページで園の紹介を積極的に行っています。また、見学者に対しては園のしおりに基づいて積極的に情報を提供しています。</li> <li>・ 利用希望者に対しては園長や主任が見学者に対応しています。見学希望者には、都合を曜日や時間の希望に合わせて受け付けています。</li> </ul>
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p> <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<p style="text-align: right;"></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年、インターンシップ生（高校生）、職業体験学習生（中学生）をボランティアとして受け入れています。ボランティア受け入れにあたり、ボランティア受け入れマニュアルに基づいて、園の基本的な考え方を説明しています。</li> <li>・ 実習生受け入れマニュアルがあり、受け入れに際し、園の基本事項について説明しています。実習受け入れに当たり、実習校の担当職員と打合せを行い、実習プログラムを作っています。</li> </ul>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>V-1 職員の人材育成</p> <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人材の補充は、基本的に運営法人が実施しており必要な人材は逐次補充しています。人材育成に対する基本的な考え方や育成の方法などは運営法人で策定しており、レベルアップ研修で周知されています。</li> <li>• 研修計画担当責任者は園長となっており、職員のニーズを把握しつつ研修計画を作成しています。横浜市や保育の専門機関が実施する外部の研修会に積極的に参加できるように配慮しています。</li> <li>• 非常勤職員の指導は園長と主任がしており、仕事上の悩みに応えたり、非常勤職員間の話し合いの時間を設けて意見を交わすようにしています。非常勤職員も年初に「チャレンジ共有シート」を記入することになっており、自己の目標を設定し、園長と面談を行っています。</li> </ul>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職員は年度のはじめに「チャレンジ共有シート」と呼ばれる自己目標設定のシートに記録し、年間の目標を設定しています。これらを基に年間の技術向上目標や研修計画を作っていきます。</li> <li>• 年初に作成したチャレンジ共有シートを年度末に自己評価し、さらに、次年度のチャレンジ共有シートの作成に活かしています。</li> <li>• 保育士の自己評価をふまえ、保育所としての自己評価が作成されています。保育理念に基づき教育、環境、言葉、表現など様々な分野で行われ事業報告書にまとめられています。</li> </ul>
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> <p>(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運営法人は「保育者ナビ」という職員に配布する小冊子に職員として「園が求める保育者像」を提示し、初任社員、自立社員、見本社員に分けて、その期待する役割を明記して、権限委譲を明確にすると同時に職員のやる気を引き出しています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅵ 経営管理

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅵ-1 経営における社会的責任</p> <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育ガイドに人権遵守・倫理規定が明文化されており、職員に周知されています。</li> <li>• ゴミの分別のため分別箱を各保育室に配置し、子ども達が分別できるように教えています。園のフェンスにゴーヤなどの植物を植え、プランターにも多くの草花を植えて緑化に取り組んでいます。環境への取り組みについては、事業計画の中で「環境への取り組み」が明記されています。</li> </ul>
<p>Ⅵ-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 玄関ホール、各保育室には保育理念、保育の基本方針を掲示しており職員に周知しています。園内研修で、園長・主任が中心になって、保育の理念・基本方針の共通理解を深めるようにしています。</li> <li>• 現在のところ、特に保護者との間に継続的に意見交換をする重要な事象がありません。今後、園の運営に重要な課題が提起された場合には、保護者への十分な説明と意見交換をしていく予定です。</li> <li>• 主任はクラスを持たず、保育の現場に入っていく、業務全般を把握するようにしており、日常業務の中で、個々の職員に対して、的確な助言や指導を行っています。</li> </ul>
<p>Ⅵ-3 効率的な運営</p> <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育園を巡る大きな環境変化が生じており、運営法人は保育運営に関連する情報を収集し、分析した結果を園に伝えています。</li> <li>• 運営法人と協議の上、園独自の中長期計画を策定しています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケートの結果概要

●実施期間

2016年6月24日～7月8日

●実施方法

- ① 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
- ② 各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。

●回収率

回収率：58.5%（53枚配布、31枚回収）

### 【結果の特徴】

※以下で「満足度」とは、「その他」「無回答」を除く回答総数における、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計の割合です。

(1) 満足度が高かった項目

問2：見学の受け入れについて	100.0%
問4：遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	100.0%
問4：給食の献立内容については	100.0%
問4：昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	100.0%
問4：家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	100.0%
問7：アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	100.0%
問7：話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	100.0%

(2) 満足度が低かった項目

問5：外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	61.3%
問5：施設設備については	66.7%
問5：お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	80.6%

(3) 総合満足度

問8：総合満足度は	93.5%
-----------	-------

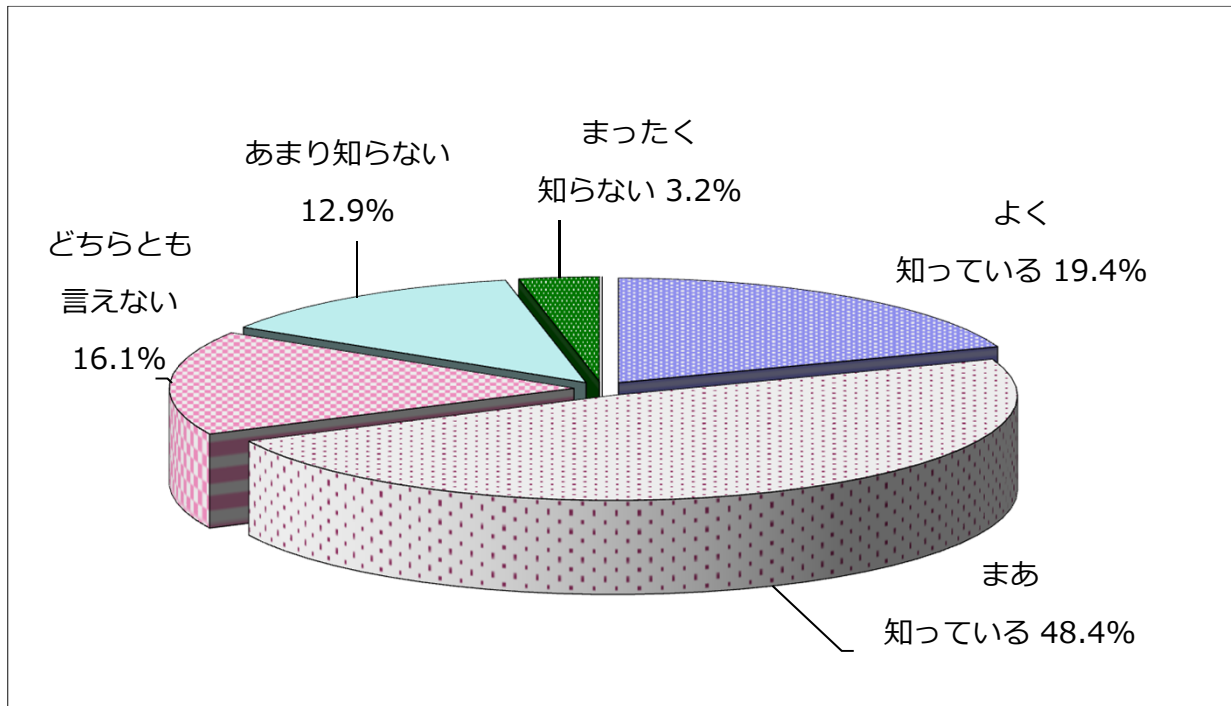
(4) 中項目ごとの平均満足度

問2：入園時の状況について	92.7%
問3：年間の計画について	88.5%
問4：日常の保育内容「遊び」について	94.0%
問4：日常の保育内容「生活」について	95.7%
問5：快適さや安全対策などについて	74.7%
問6：園と保護者との連携・交流について	93.9%
問7：職員の対応について	97.3%

# 利用者（園児）家族アンケート 集計結果・分析

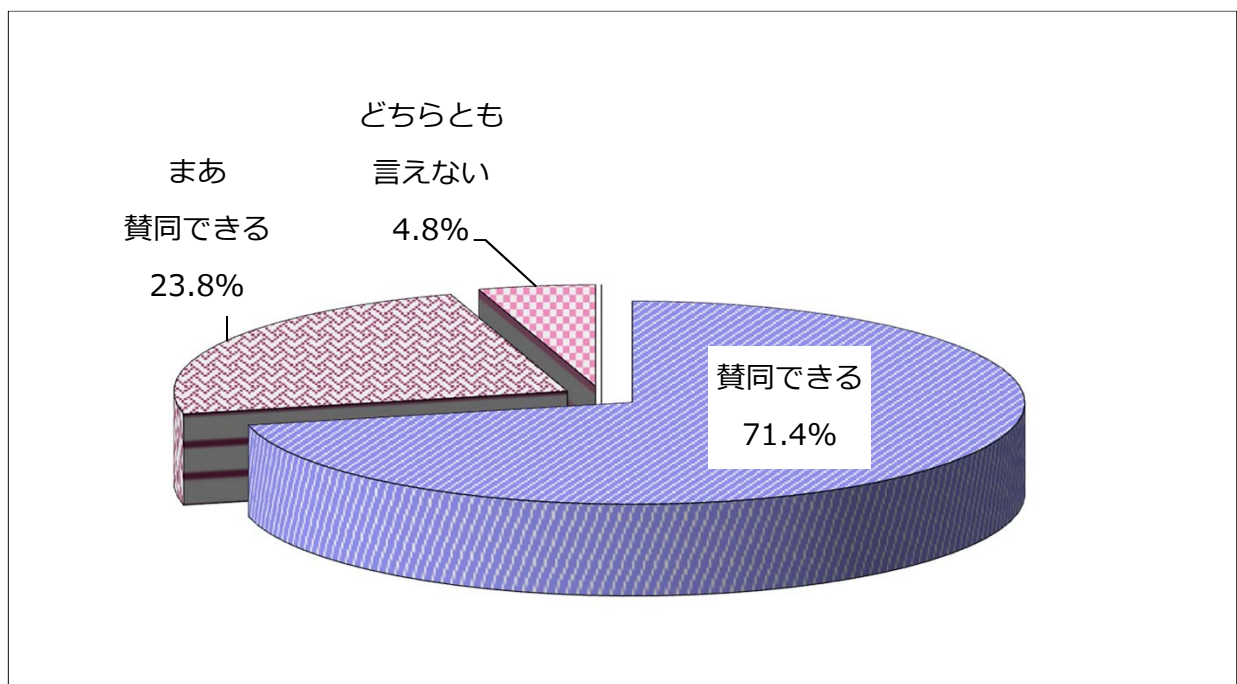
## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



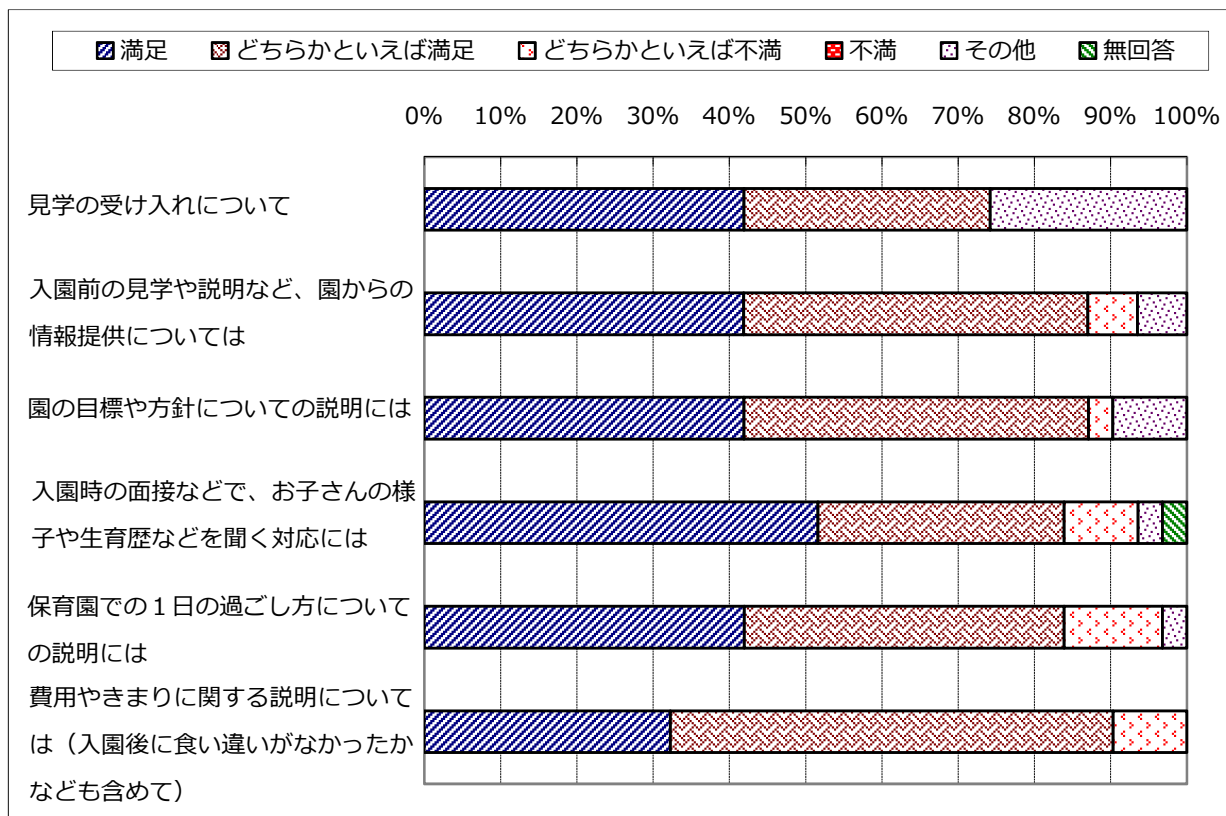


■ 保育園のサービス内容について

(%)

問2 入園時の状況について

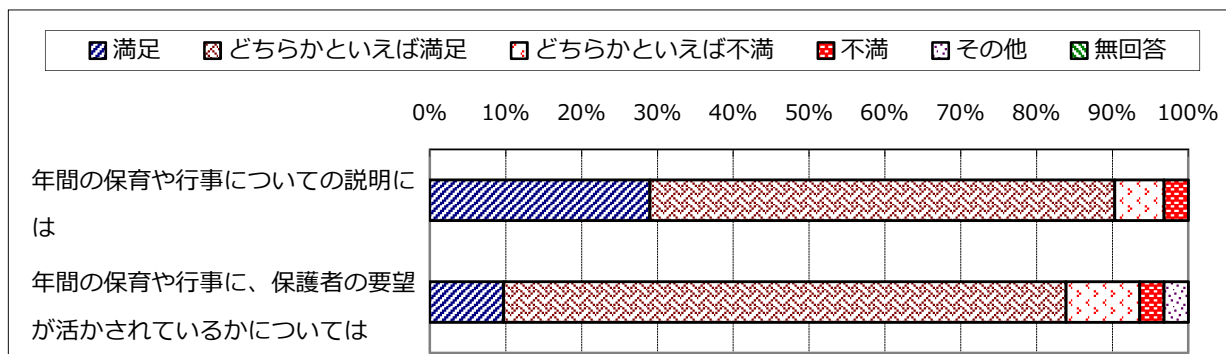
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについて	41.9	32.3	0.0	0.0	25.8	0.0
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	41.9	45.2	6.5	0.0	6.5	0.0
園の目標や方針についての説明には	41.9	45.2	3.2	0.0	9.7	0.0
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	51.6	32.3	9.7	0.0	3.2	3.2
保育園での1日の過ごし方についての説明には	41.9	41.9	12.9	0.0	3.2	0.0
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	32.3	58.1	9.7	0.0	0.0	0.0



(%)

問3 年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	29.0	61.3	6.5	3.2	0.0	0.0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	9.7	74.2	9.7	3.2	3.2	0.0

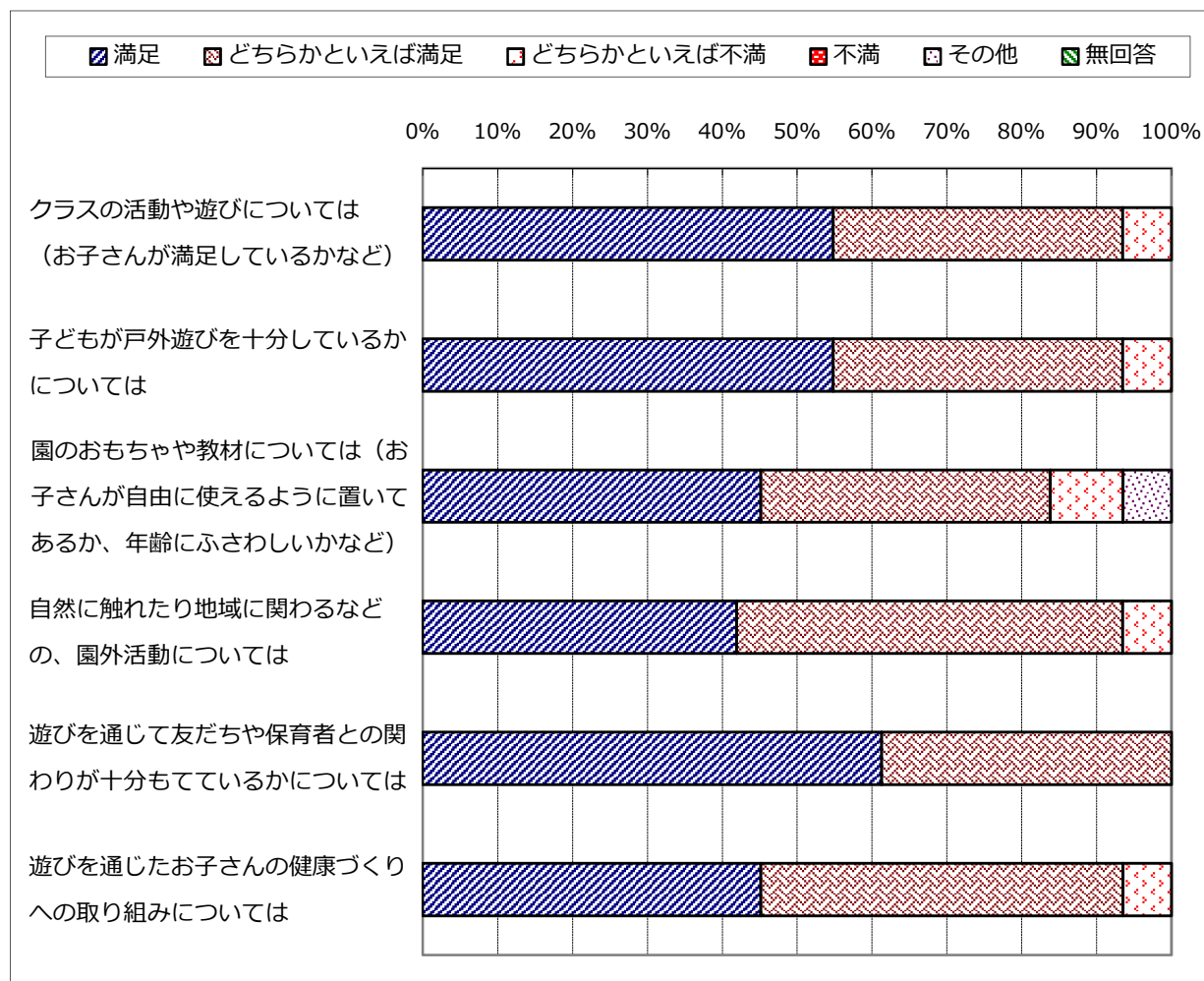


## 問4 日常の保育内容について

### ● 「遊び」について

(%)

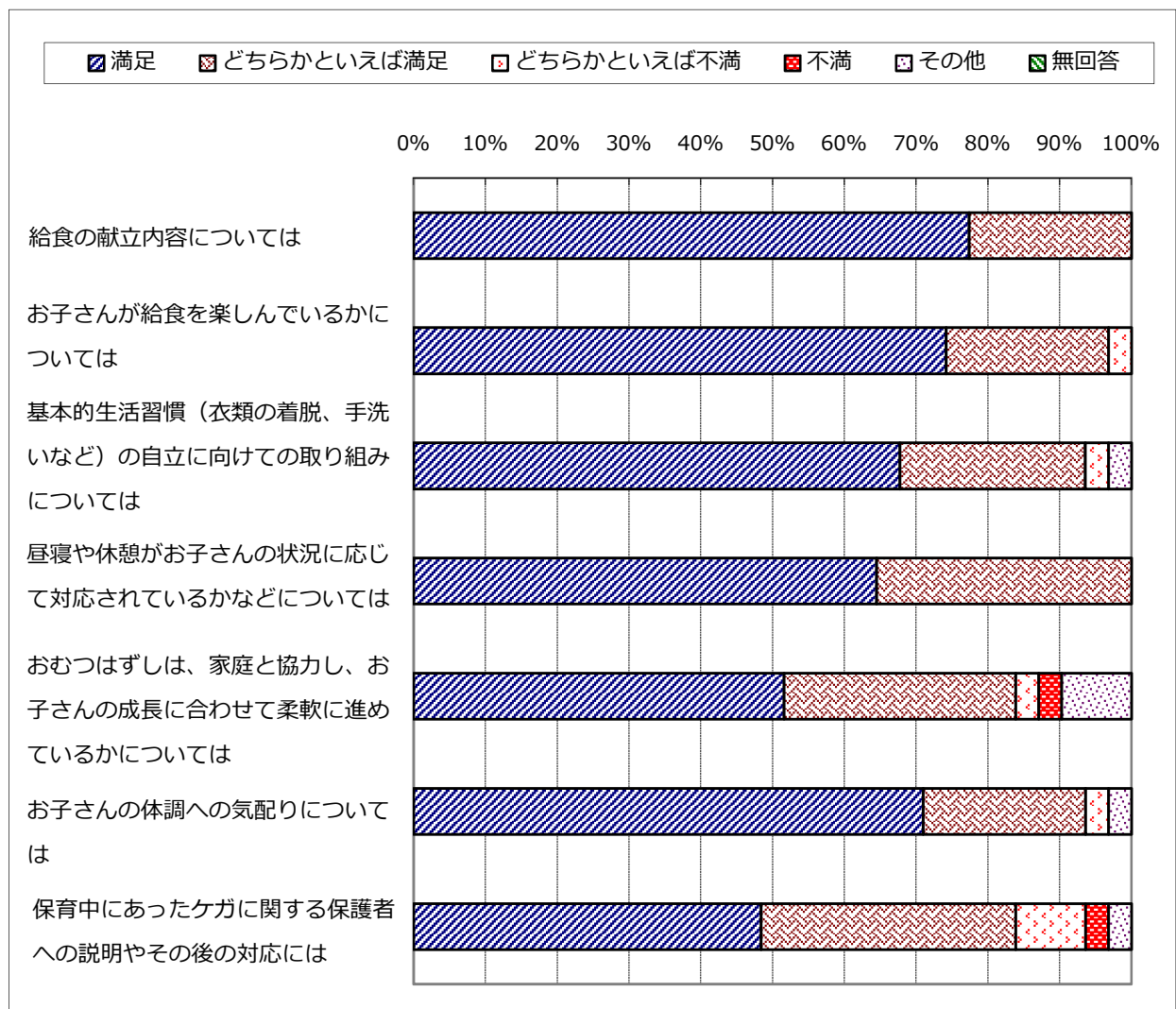
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	54.8	38.7	6.5	0.0	0.0	0.0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	54.8	38.7	6.5	0.0	0.0	0.0
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	45.2	38.7	9.7	0.0	6.5	0.0
自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については	41.9	51.6	6.5	0.0	0.0	0.0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	61.3	38.7	0.0	0.0	0.0	0.0
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	45.2	48.4	6.5	0.0	0.0	0.0



●「生活」について

(%)

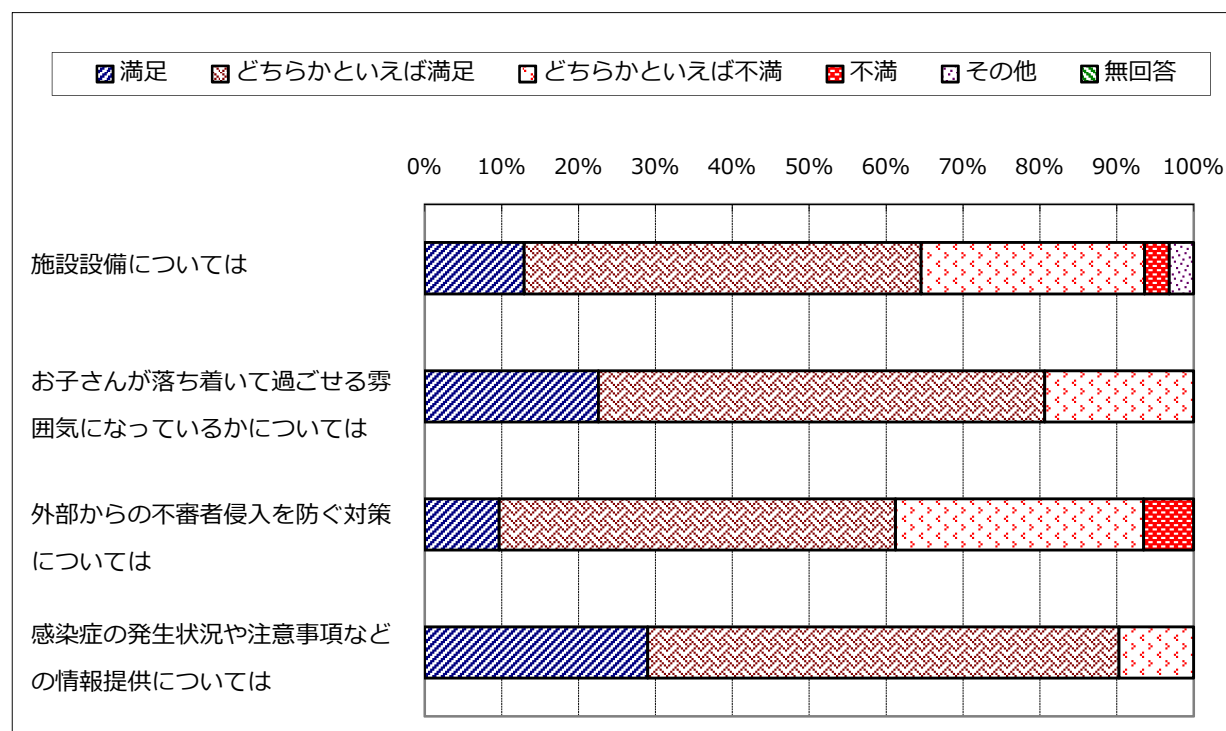
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	77.4	22.6	0.0	0.0	0.0	0.0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	74.2	22.6	3.2	0.0	0.0	0.0
基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	67.7	25.8	3.2	0.0	3.2	0.0
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	64.5	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	51.6	32.3	3.2	3.2	9.7	0.0
お子さんの体調への気配りについては	71.0	22.6	3.2	0.0	3.2	0.0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	48.4	35.5	9.7	3.2	3.2	0.0



## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

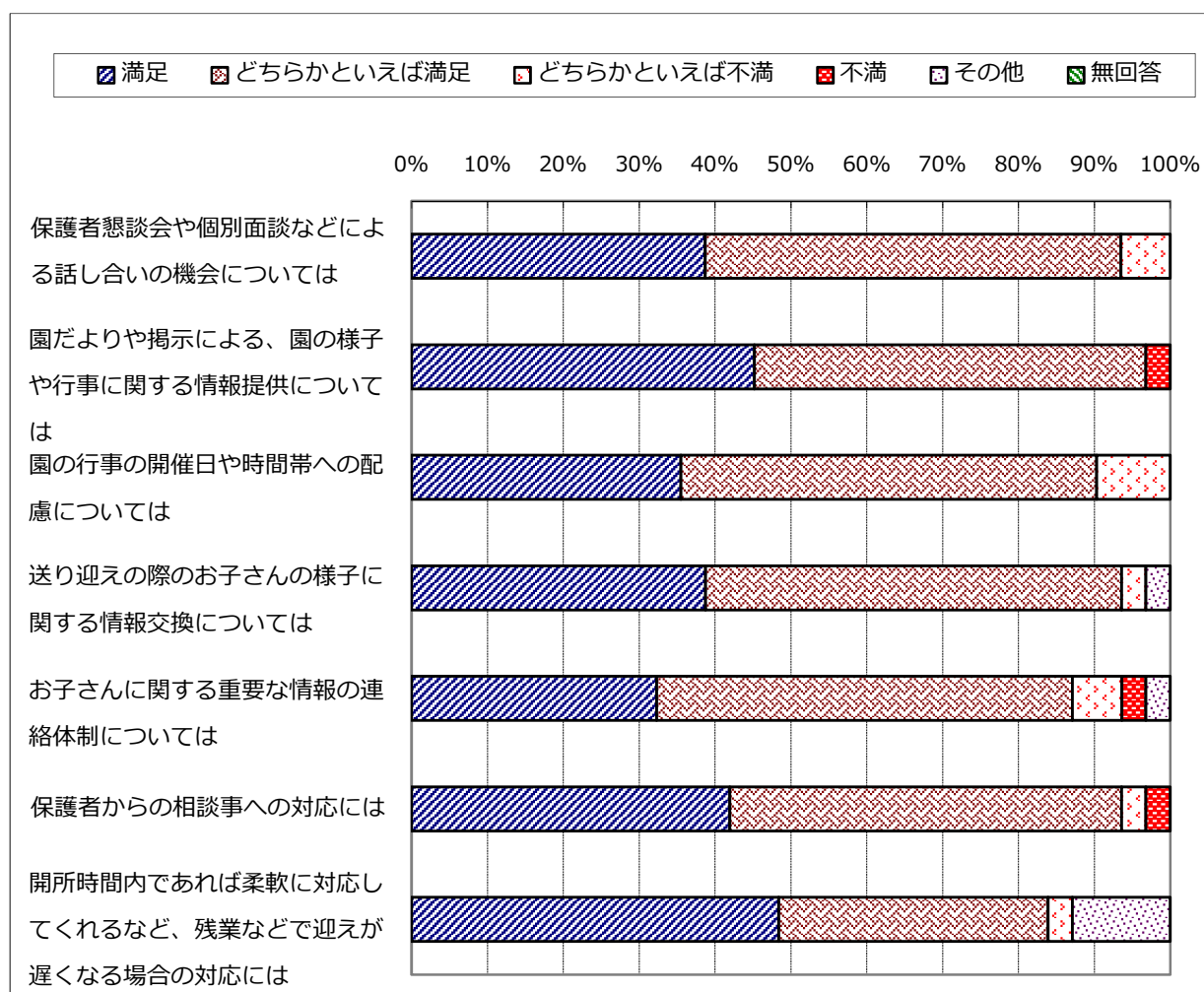
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	12.9	51.6	29.0	3.2	3.2	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	22.6	58.1	19.4	0.0	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	9.7	51.6	32.3	6.5	0.0	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	29.0	61.3	9.7	0.0	0.0	0.0



## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

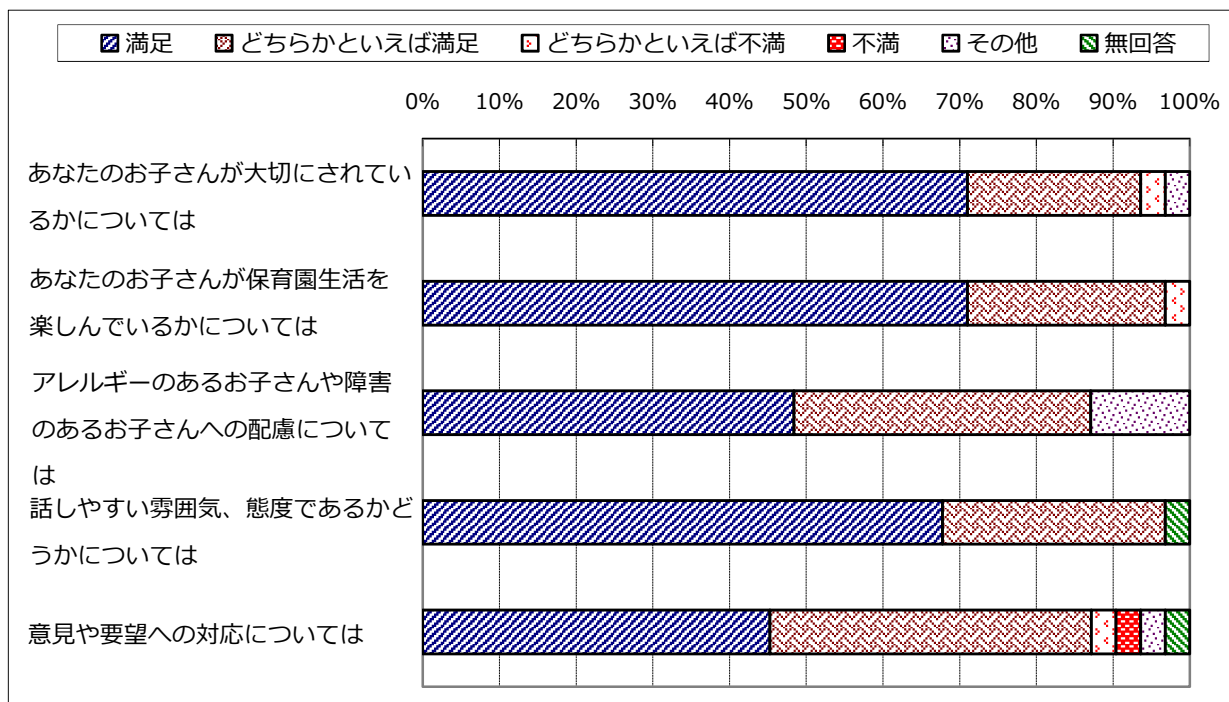
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	38.7	54.8	6.5	0.0	0.0	0.0
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	45.2	51.6	0.0	3.2	0.0	0.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	35.5	54.8	9.7	0.0	0.0	0.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	38.7	54.8	3.2	0.0	3.2	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	32.3	54.8	6.5	3.2	3.2	0.0
保護者からの相談事への対応には	41.9	51.6	3.2	3.2	0.0	0.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	48.4	35.5	3.2	0.0	12.9	0.0



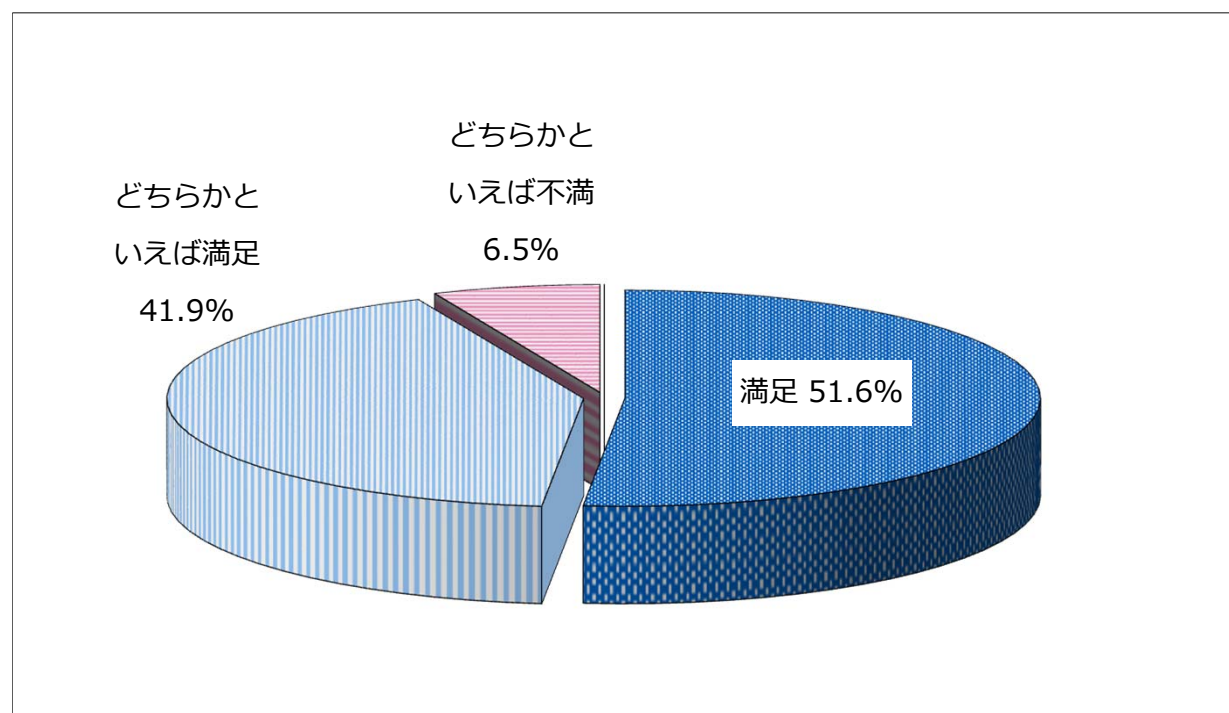
## 問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	71.0	22.6	3.2	0.0	3.2	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	71.0	25.8	3.2	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	48.4	38.7	0.0	0.0	12.9	0.0
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	67.7	29.0	0.0	0.0	0.0	3.2
意見や要望への対応については	45.2	41.9	3.2	3.2	3.2	3.2



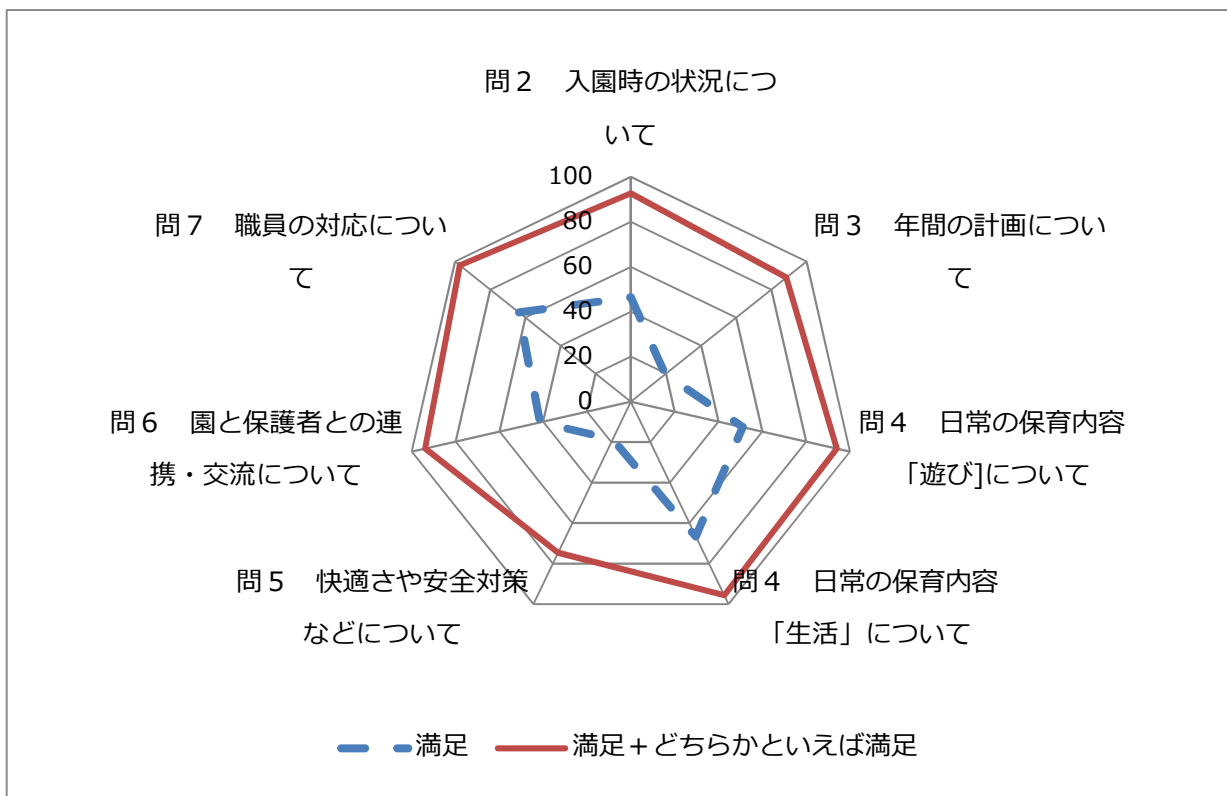
## 問8 保育園を総合的に評価すると



【参考資料：中項目別平均満足度割合】

(%)

中項目	満足	満足+どちらかといえば満足
問2 入園時の状況について	46.4	92.7
問3 年間の計画について	19.5	88.5
問4 日常の保育内容「遊び」について	51.1	94.0
問4 日常の保育内容「生活」について	66.6	95.7
問5 快適さや安全対策などについて	18.7	74.7
問6 園と保護者との連携・交流について	41.5	93.9
問7 職員の対応について	63.6	97.3



※各中項目は、2～7つの小項目によって構成されており、各小項目の満足度割合から平均値を算出した。

※ここでの「満足度割合」は「その他」「無回答」を除外して計算してある。

## 利用者（園児）本人調査の結果概要

実施日：8月24日（水曜日）・8月26日（金曜日）

実施方法：観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。

幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

### ●0歳児クラス

椅子に座っている子ども、畳の上にぺたんかと座っている子ども、朝は思い思いに始まります。子どもたちは保育士からの話しかけを楽しみながら、言葉にはならない言葉で保育士に何か伝えようとしています。保育士が「〇〇ちゃん、うんちをしたので交換お願いします」というと、別の保育士が「うんちした人いらっしゃい」さらに別の保育士が「はい」と答え、うんちをした子どものおむつを沐浴室で、取り替えています。「きれきれサッパリするね」などと他の保育士も話しかけています。保育士同士の連携の中、子どもたちは安心して身を任せています。

今日は水遊びの日です。園庭のテラスに水遊びの準備が整いました。子どもたちを順番にテラスに出して行きます。グリーンシートの上で水車やバケツで水遊びです。みんな水遊びが大好きです。終わりは、一人一人バスタオルにくるまれてテラスから部屋に入ってきます。保育室では着替えが始まります。おむつをしてから着替えです。着替えが終わった子どもから順に水分補給です。そのうちに食事の準備ができました。保育士は「もぐもぐカミカミだよ～」などと話しかけながらスプーンを口に運んでいきます。子どもによっては、乳児用三角スプーンを持って自分で食べようとする子どももいます。

### ●1歳児クラス

保育室では子どもが数人ずつのグループを作っています。保育士が絵本を読み始めると、子どもたちは、なんとなく周りに集まり始め、静かに聞き入っています。保育士が「そよかぜさ～ん、お片づけ」といい、ゆっくりとおもちゃの片付けをしていきます。片付けを終えると、隣のコーナーに行き、おやつです。食べ終わると各自で遊びのコーナーに移動していきます。女の子が股をトントンして何かを教えてください。保育士は、「おしっこだったの？教えてくれたの？」と言い、早速オムツを仕切られた空間で替えています。保育士はちょっとした動作でも子どもの意向が分かるようです。

手作りの布団や枕を使ってお人形を眠らせたりバンダナを使っておんぶしたりして、お人形さんごっこを楽しんでいます。バタンと転んで、大泣きを始めた子どもを、保育士が抱きしめて、「痛かったのねえ」と慰めています。集まってきた子どもたちに「痛くて泣いているから、慰めてあげて」と声かけすると、子どもたちは口ぐちに何かを言ったり、女の子の頭をなでてあげたりしています。

観察当日はテラスで水遊びです。保育士が温水シャワーを上からアーチのように出していると、その下に自分から入ってきてずぶ濡れになる子どもやバケツやじょうろの中に水をうまく入れていく子どももいます。遊び方は様々です。

ワゴンにのせた給食にはラップがかけられ、配慮が必要な子の給食にはラップに名前が書いてあります。アレルギー児の専用トレイは、保育士が指差して確認を行い、「アレルギー」と書かれた専用タオルの置いてある机に配膳します。みんなスプーンをうまく使って自分で食べます。途中から保育士に手伝ってもらい子どももいますが、急ぐことなく、食事を楽しみながらほとんどの子どもが完食しています。



## ●2 歳児クラス

朝のおやつが終わった子どもから、保育士が絵本を読んでいるところに集まります。子どもたちは保育士の声に集中し、穏やかな絵本の時間になっています。全員が揃い絵本が終わると、保育士は静かな声で朝のお話しを始めます。「今日の予定は、砂遊びと室内遊びです」のところで、みんなが大きな声で「バンザイ！」となりました。砂場にはシャベルやバケツなどのおもちゃがたくさん用意されています。子どもたちは裸足で砂場に入り、それぞれ自由におもちゃで遊び始めます。手も足も砂だらけになりながら保育士と一緒に楽しそうに遊んでいます。

給食は、保育士が調理室に取りに行きますが、数人の子どもたちがお手伝いしています。

## ●3 歳児クラス

朝は4・5歳児のクラスで合同保育です。時間が来ると、3歳児だけが保育室の出口に一列に整列し、4・5歳児にむかって「ありがとうございました」と大きな声で挨拶をします。3歳児の部屋では3つのテーブルに4人ずつ座ります。配慮を必要とする子どもには保育士が一人ついて、一番奥に座ります。

保育士が「今日は天気がとってもいいのでプールです」と今日の予定を教えています。子どもたちはプールの道具をロッカーから持ってきて、保育室で水着に着替えていきます。保育士が「机の上に脱いだ服をたたんでおいて下さい」というと、子どもたちは丁寧に服をたたんで机の上に置きます。子どもたちと保育士が手をつないで準備体操を行います。終わると、玄関ホールに集まります。おしりのシャワー洗いをしなければなりません。まだ4歳児のプール遊びが終わっていないため、子どもたちは玄関ホールの本棚から絵本を取り出して読みながら待っています。おしりシャワーを終えた子供たちはベランダのプールに移動します。ビニールの大きなプールです。子どもたちは少しずつ足を入れていきます。「冷たい冷たい！」と言いますが、そのうち慣れて、プールの縁に座って腰まで水につかります。次に、おしりをずらしてプールの中で前進してピヨピヨとひよこのまねです。次は、足を上に上げてバタ足です。さらに手もバシャバシャと水をたたいて、本格的にプールの中で遊びます。プールを終えると、シャワーを浴びて着替えをします。終わった子どもは保育室で静かに絵本を読んでいます。

## ●4 歳児・5 歳児クラス

朝は合同保育ということで、3・4・5歳児と一緒に4・5歳児の保育室にいます。それぞれが好きなことによって場所を選んでいるようです。机の上ではトランプ、チェス、オセロ、文字カード、絵本といった遊びの種類によって分かれています。時間が来ると、3歳児だけ自分たちの保育室に移動します。

観察当日は、散歩に行きました。玄関ホールで保育士が虫除けスプレーを子どもたちにふきかけています。保育園を出発すると、4歳と5歳が手をつないで2列で歩いて行きます。道路側には必ず5歳児が来るように配慮しています。通行中、おばあさんが、子どもたちにニコニコと笑いかけると、保育士が「おはようございます」と挨拶を交わしています。

公園で、自由遊びになると、子どもたちはブランコ、鉄棒、ぐるぐるウンティなどの遊具で遊んだり、公園の周りに植わっている木の下に行き、蝉を見つけて遊んだりしています。さらにバッタを捕まえた子どもが、観察者に見せに来ます。観察力が鋭く、珍しいバッタを見つけると図鑑で調べています。グラウンドでは円筒形の小さなコンクリートのサークルをみつけて、その上で女の子が歌を歌い始めています。木の枝をマイクに見立てて、大人の歌を歌い始めると、次から次へと歌が出てきます。保育士はそれにのって、子どもたちの前でちょっとした振り付けで踊っています。別なところでは、グラウンドに線を引いて「ヨーイドン！」とかけっこを始める子どもたちも出てきます。ここでは4歳、5歳が入り乱れています。さらに、鬼ごっこで遊ぶ子どもたちが出てきます。これは、「バナナ鬼ごっこ」といって、バナナのまねをする鬼ごっこです。子どもたちは、次から次へと遊びを楽しみます。グループの遊びだけでなく、鉄棒で逆立ちする

子ども、カンボックリ、縄跳びの二重回しなど、子どもたちは自分たちで自主的に遊びを楽しんでいます。保育士は子どもたちを暖かく見守っています。4歳の子どものは5歳の子どもの遊びを見て、一緒になって遊んで成長していくようです。

帰る頃になって、別の保育園の子どもたちが公園にやってきました。保育士同士は互いによく知っている関係のようです。こちらの子どもが「こんにちは」と挨拶すると「ご挨拶、すてきだね」と褒めてくれます。

## ●まとめ

子どもたちは、園の内外でのびのびと自由に遊んでいました。特に、4・5歳児は公園で、自分の好きな遊びを選んでいました。集団で遊ぶことも好きです。かけっこ、鬼ごっこなど自分たちでルールを作って遊んでいました。子どもたちは、保育士に言われたことはかなりきちんと守ります。脱いだ洋服をたたみましよう、と言うと、丁寧にたたんだり、給食後の食器片付けも自然にやっていました。

こうした、子どもの自主性を保育士は静かに見守っていました。決して強制することなく、なるべく自分たちで物事を決定できるように配慮していました。

## 事業者コメント

第三者評価受審にあたり、施設全職員が自己評価実施に携わる機会をいただきました。いくつかの小グループで項目ごとに具体的な取り組み工夫事例をあげ、まとめてきました。話し合いの中で、改めて日々の保育を振り返る事が出来、保護者の方々の率直なご意見等を知り見直しをしていく良い機会となりました。

総合評価の中で優れている点として、評価をよく挙げて頂いているところでは、今後も継続をして、常に子どもの最善の利益を考えながら保育をしていきたいと思えます。

工夫が望まれる点として、園の専門性を活かした地域支援への取り組みが遅れているという課題が上がりました。今後地域コミュニティへ積極的に働き掛けることなどや、地域の特性を活かした地域の子育て家庭に還元するための、取り組みなどを工夫するよう職員と話し合い、実施出来るように考えていきたいと思えます。

保護者の皆さまにおかれましては、日ごろより園の運営にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきました保護者の皆さま、そして評価機関関係者の皆さまには、きめ細やかに保育を見ていただいた事に心より感謝いたします。



-評価で次のステージへ-  
since 2012

---

合同会社 評価市民・ネクスト

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター153

Tel: 050-3786-7048 Fax: 045-330-6048

URL: <http://www.hyouka-next.jp>